

皆川治市政報告会で参院選対応を説明 「バランス」を取りたかった



市政報告する皆川治鶴岡市長（12月26日。東京第一ホテル鶴岡）

皆川治後援会主催の市政報告会が12月26日、東京第一ホテル鶴岡で開かれ、約600人が参加し会場一杯になりました。

会では五十嵐良二氏に代わり、加茂水族館名誉館長の村上龍男氏が後援会長に就任したことが報告されました。

皆川市長の市政報告の中から、「参院選対応」について説明した部分を掲載します（要旨・文責編集部）。



新しく皆川治後援会の会長に就任した村上龍男氏



来賓の県会議員ら

国と地方は対等

私の政治姿勢は変わっていない。

平成11年に地方分権一括法が成立しているが、国と地方は対等なんだと明確に位置づけられている。

かつて地方は国の下請けといった扱いがあった。

機関委任事務という、国から委任を受けた事務、下請けというのが法制度上もあった。これが平成11年に大きく変わった。

鶴岡市政は、多様な主義主張、政党や宗教も含めていろんな人がいて地域コミュニティが成り立っている。

私は、政治家が「排除」をしてはいけない、このことをしっかりと認識して取り組む必要があると思っています。

肩に力が入っていた

今日、これはちゃんと説明してくれよと言われていたのが、先の参院選の対応だ。

県の13市の市長会で12の市長が与党の現職の支援で名前を連ねている。

これはこれだけで1時間ぐらい話してもよいが、こういうことかという、「バランス」を取りたかった。

私のことを野党だとか、非自民系だとか、勝手に称してもらっているところがある。

何度も言っているが、私は「市民党」だ。

大泉の人もたくさん来ていただいているが、私はいわば「地域党」と思っている。

先の参院選ではちょっと、私自身も肩に力が入っていたかなという思いもある。

今後はなお、市民党、また地域党ということに精進していくので、ご理解をいただきたい。

排除はしない

参院選でも政治家は決断を求められる。

先日の新聞で出生数が90万人を下回ったなど、私たちが本心に立ち向かわなければならぬのはこうした大きな社会課題だ。

排除やいじめなど、もつてのほかだ。

私は排除はしない、誰一人として取り残さない、そういう覚悟で市政運営に取り組んでいきたい。

私は誰も敵はいない、恐れる者も何もない。互いの違いを認め合いつつ、大きな課題にいかにか立ち向かうか、そこに知恵を絞ってきたい。

党市議団申し入れ

日本共産党市議団は、昨年4月11日の「参院選での大沼瑞穂支援」の報道直後の15日、皆川市長に緊急の申し入れを行っています。

その中で、「国政との連携」は理解するとしても、「大沼瑞穂氏の支援」は短絡的であり、国と市町村は対等の関係にあるので、毅然として国政に向き合うことを求めました。

また、12月23日の予算要望書提出では、重要要望事項の第一に、「市民党の立場に疑問を持たれないよう、憲法の定める地方自治の本旨に則り、毅然として国政に向き合うこと」を求めています。

民報読者の新年会

とき 2020年1月13日(月)

午後3時～5時30分

ところ 藤島ふれあいセンター
(庄内農高から南側)

かいひ 千円

楽しいDVD視聴もあります。

当日参加も大歓迎。

大いに飲み語り合いましょ
どなたでもお気軽にご参加を！

連絡 石川 64-2258

成田 64-4765



★藤島歴史公園Hisu花（ヒスカ）の大藤棚再生に向け、募金呼びかけ
1月7日現在、個人58件、団体(商店含む)11件が募金。
 募金金額は一口1,000円から、
 募金期間は12月2日（月）から令和2年1月31日（金）まで
 現金の場合は、出羽商工会藤島支所内の「ふじしま観光協会」へ
 口座振替の場合は、口座名義「ふじしま観光協会 会長 田中壽一」
 ・ 荘内銀行藤島支店・普通 0011781
 ・ 鶴岡信用金庫藤島支店 普通 0077009

世界の国々

中国

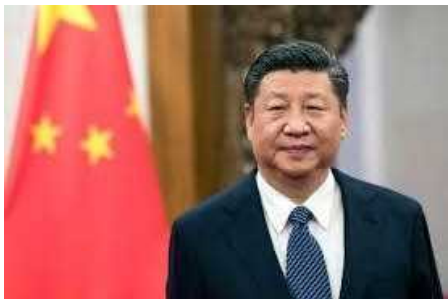
青山崇

『社会主義をめざす新しい探求が開始』された国ではなくなった

日本共産党は、この1月に開く第28回党大会に「綱領の一部改定案」を提案する。それによると、中国は「社会主義をめざす新しい探求が開始された」国でなくなったとしている。

日中両党関係は1960年代後半から、日本共産党が「鉄砲から政権が生まれる」との中国武装闘争路線に従わないとして異常な攻撃を始めた。両党が友好関係に永遠に戻らないとまで言われた。

しかし1998年、中国側が反省して正常化し、その後の交流も踏まえて「中国指導部の社会主義への事業に対する真剣さ、誠実さを認識し、評価してきた」とし、2004年綱領改定で、前述のように規定したのである。



しかし、国内総生産（GDP）で日本を抜き、米国に次ぐ世界第

2位になりつつあった2008〜09年頃から、世界の平和、民主主義、人権を何よりも尊重すべき社会主義の原則や理念に反するとして、中国の4つの言動を上げてこの規定を削除している。

1つは核兵器廃絶を「究極的目標」として廃絶を棚上げ。2つは東シナ海、南シナ海での覇権主義的行動。3つは国際会議の民主的運営をふみにじる横暴。4つは香港やウイ

グル自治区での人権弾圧である。人口は世界1位の13億9000万人、面積3位で963万4057km²の地理的大国で、それに2位という経済大国が加わり看過できない問題である。



（香港の100万人抗議デモ）



首相の口には注意

明けておめでとううございます。読者の皆さんと共に目出度く又一つ年を頂きました。しかし、政府もそう思っているんでしょうか。少子高齢を言い出してから何年になるか。そんな思いもお金も新年度予算には見当たらないよつでしたヨ。

っているがサ。それを許せば何時かジフット、全部ということに。「桜を見る会」に目がいかないようにとの陽動作戦かも知れないが、その手に乗るかつて。▲言っていることとやることが全くの逆でしょ。どっか狂っている。絶対狂っている。これがアベ政治だ。これも言っているんだ。若い人に肩代わりをさせてはならないと。▲今まで若い人達が俺たちの医療費をしょつてくれていたのか？年金でのマクロスライドと同じ手だぜ。

述懐

年齒磋跼覚発勞
 眼昏耳重諦風号
 緩吟自聴惟悲感

述懐

年齒 磋跼として勞を發するを覚ゆ
 眼 昏く耳 重くして風号を諦むなり
 緩やかに吟じて自ら聴けば惟悲しむ感のみなり

城貞（藤の花）

老至鏡中垂二毛

老 至りて鏡中 二毛を 垂るるを

たちまちのうちに年をとり、めっきり疲れを感じるようになった。視力が衰え耳がにぶってついに風号をほしがることは、無理だとあきらめた。ゆつくり朗唱してテープにいられて自分でそれを聞くと、惟あまりの下手なのがっかりするばかりだ。最近は更に老いがやってきて、鏡に写しだされるのは、白髪まじりの自分そのものである。

述懐 〓自分の心の思いを詠む。年齒 〓年齢。磋跼 〓空しく時間が過ぎる。二毛 〓しらが混じり。

▲そこでも言い出したのが、「全世代型云々」との言葉だ。首相の口から新しい言葉が出てきた時は注意を要するんだが、お年寄りの医療費を2割にするといい出したぜ。高齢者全部を敵にしないように、今は所得の多い人と言

▲まともがない・こんな政治は嫌だ。アベ政治の一日でも早い退場のために頑張ろうよ。なーみんな。（石川）